

若者会議 第1回 開催記録

- 日 時：令和元年8月4日（日） 午後1時30分から午後4時まで
- 場 所：イオンモール東浦 2階 イオンホール
- 参加人数：21人
- 内 容：
 - 1 開会
 - 2 若者会議の概要について
 - 3 本日の予定について
 - 4 自己紹介、アイスブレイク
 - 5 東浦町の紹介（概要説明と「どんぴしゃ！東浦」鑑賞）
 - 6 ワーク「若者会議でやってみたいこと！」
 - (1) 個人ワーク（模造紙を使った作業）
 - (2) グループワーク
 - (3) 情報共有
 - (4) 個人ワーク（ワークシート記入）
 - 7 閉会

●参加人数【内訳】

【内訳】

- 社会人：3人
- 大学生：8人
- 高校生：8人
- 中学生：2人

●開催日程・内容



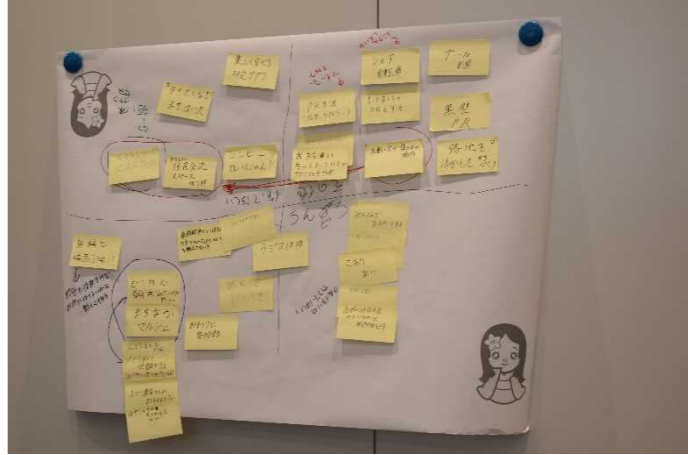
- 【第1回】8月4日（日） 若者会議でやってみたいことを考える。
- 【第2回】8月25日（日） グループにわかれて取り組む内容を決める。
- 【第3回】9月14日（土） 事業の具体的な内容について話し合う。
- 【第4回】9月21日（土） さらに内容を詰めて、報告会の準備をする。
- 【第5回】9月29日（日） 報告会を開催する。

午後1時30分から午後4時まで（受付1時から）



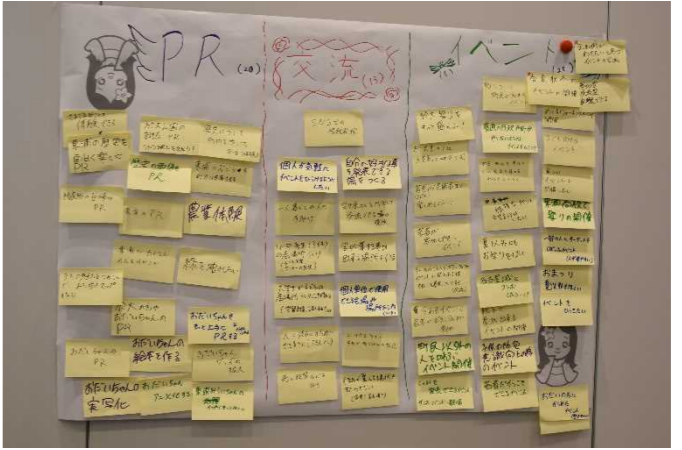
■若者会議 第1回まとめ 【模造紙を使った個人ワークとグループワーク】

グループ	キーワード	やってみたいこと	写真
A	●イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・東浦町花火大会をやりたいな～ ・習い事を増やす ・自然をもっと活用しようよ～ 	
	●環境	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない ・歩道に植えてある草を刈ってほしい→車道を通らざるを得ない ・ごみの分別 ・タバコの吸殻ごみ ・案内板等での外国語表示を増やす ・空き家活用をやっていきたい ・駅の近くにコンビニ 	
	●若者で行える	<ul style="list-style-type: none"> ・東浦ブドウを用いたオリジナル紅茶を作る ・ふるさと納税 ・町の税収だけでは行えない取り組みをクラウドファンディングを行って実現する ・豊かな自然を利用してコスプレ撮影したい ・若者の居場所作り ・人と人がつながれる環境を作る ・若者（中・高・大）が活躍するまち 	
	●その他	<ul style="list-style-type: none"> ・オシャレなBar・居酒屋 ・東浦中の標高が低い ・防災マップを作ってほしい ・東浦町のパンフレットを作ってほしい（もっといろいろな場所に置いてほしい） ・東浦の歴史の魅力が分からない→歴史マップ等を作ろう ・東浦の歴史などを展示する場所を作ってほしい ・おだい公園の遊具を増やす ・指定ごみ袋値上げの効果 ・食品ロス→提供 ・阿久比町合併 ・広報誌の認知度アップ ・うららバス小型化 ・いつ、どこでバスが走っているのかよくわからない ・歩道の幅を広く 	

■若者会議 第1回まとめ 【模造紙を使った個人ワークとグループワーク】

グループ	キーワード	やってみいたいこと	写真
B	●作ってほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学べる防災アプリ ・歩きたくなるまちコース ・コンビニ無いじゃん！！ ・面白い住民交流スペース作り！！ ・空き家を活かした交流スペース 	  
	●イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・東浦町手づくりよろいの会の方たちからよろいのことを教えてもらう ・ぶどうを使った祭 ・無料で映画上映（町外にはあるけれど町内にはないから新しく作る） ・どこかで朝市みたいなやつ ・まちなかマルシェ ・ぶどうをもっとPR ・ぶどう狩り体験をする（お持ち帰りも可にする） ・毎月1回イベントを ・お祭りに参加する ・ぶどう農家さんのお手伝い ・はやりものをくわえる（タピオカか？） 	
	●運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操 ・みんなでスポーツする ・鬼ごっこのイベント ・こおりおに ・国取合戦 ・高校の球技大会みたいなやつの町内版をやる 	
	●その他	<ul style="list-style-type: none"> ・PR方法（広告・SNS） ・シェア自転車 ・プール利用 ・黒壁PR ・もっと祭のPRをする ・路地を活かしたまちづくり ・高齢者の方が集まれる場所 ・歴史を知ってもらおう大河ドラマを作る ・おだいちゃんについての何かをやる 	

■若者会議 第1回まとめ 【模造紙を使った個人ワークとグループワーク】

グループ	キーワード	やってみいたいこと	写真
C	●PR	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなことを体験できる ・東浦の歴史(価値)を面白く楽しくPR ・特産物の巨峰のPR ・於大公園の自然PR (SNS映えを狙う?) ・歴史について町内を歩いて知る(体験) ・「東浦=ぶどう」を町外に定着させる ・農業体験 ・東浦のPR ・東浦にたくさんの人を呼び込む ・緑を増やしたい ・まちの魅力を詰め込んだまち歩きマップ作り ・於大の方やおだいちゃんのPR ・おだいちゃんの絵本を作る ・おだいちゃんグッズの拡大 ・東浦みらいちゃんの活躍もっと欲しい ・おだいちゃんアニメ化する ・おだいちゃんの実写化 	
	●交流	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの情報発信 ・個人が気軽にイベントを開けるようにしたい ・一人暮らしの人の手助け ・皆が集まる事ができる場所を作る ・人口増加のためにできること(5万人へ) ・町の政策などを知る ・自分の好きな事を発信できる場を作る ・空き家などを利用して交流できる場の提供 ・小・中学生向けに学校で朝ご飯の提供 ・住民が集える場所を廃らせない(食堂?銭湯?) ・個人単位で使用できる場や場所を増やす(つくる) ・小・中・高生(子ども)の居場所づくり(子ども食堂・センターの充実) ・大学生が子どもの居場所づくりに関わる(学習支援・話し相手など) 	
	●イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・企画側が行きたいと思うイベントの企画 ・参加型・交流型・発表できる ・春夏秋冬でイベントの開催 ・まちについて町民が知れるイベント ・子ども向けのイベント ・於大祭をもっと盛んに! ・於大まつりに人をもっと呼び込む ・若者から高齢者まで楽しめるイベント ・楽しいイベントを開催したい ・東浦高校で祭の開催 ・独特なイベント・お祭りを行いたい ・若者が参加しやすいイベント ・夏祭り以外にもお祭りをしたい ・親子で参加できるイベントの開催 ・今あるイベントで若者がボランティアに参加 ・町民以外の人を呼ぶイベントの開催 ・名古屋城とコラボしたり...!? ・子どもの防災意識向上の為のイベント ・若者だからこそできるイベント ・一部の人にターゲットを絞ったイベント ・趣味を発表できるイベント(ダンス・バンド) ・於大の方からめたイベント(歴史ものとか) ・東浦町のオススメスポットを巡るウォーキングイベント開催 ・普通の行政や町がやらないようなイベントを開く ・地区・町内会単位でさらに交流を深めるイベントを開く ・子どものころからボランティアやイベントに関われるよう手伝いを募集したりする 	

■若者会議 第1回まとめ 【ワークシートを使った個人ワーク】			
キーワード	若者会議でやってみたいこと	やってみたい理由	やってみたいことを具体的に書いてみよう
PR	<ul style="list-style-type: none"> ●景色がきれいで自然が多いところをPRしたい ●PRできるものはどんどんPRする ●PRの工夫 ●PR冊子のようなものを作る ●東浦町を表す植物や生き物を作ってほしい ●東浦町が住みやすいまちだともっと理解してほしい ●おだいちゃんのPR ●おだいちゃんのアニメを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・電車からの景色が綺麗だと毎日感じるから ・知多メディアスだけではなく、民放の取材が入るくらいのPRをしたほうがいいと思ったから ・どのまちにもPR冊子はあると思うが広まっていないため ・東浦町の存在感を出したいから ・人口増加につながると考えるから ・東浦の活気を上げたいし、交流できる場を作りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアーや写真展を開く ・PRドラマ的なものを作る ・PR方法ではなくPR内容にこだわる（目に留まる言葉、イラスト） ・人間の心理（無料・期間限定の言葉に弱い）を利用したPRをする ・ターゲットごとにPR法を変える ・できるだけ多くの人に話を聞き、それらを詰め込んだマップを作りたい
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所作りのための空き家の活用 ●空き家を使って映画上映などのイベント開催 ●みんなで集える場を作る ●空き家を活用してぶどうの紅茶、映画、コスプレ、歴史体験学習を行う ●ゲームの貸し出し ●空き家でカフェ&バー 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの課題を解決するとともに、良い効果も生まれるため ・地域資源の活用のためと、イベントを通して人とのつながりを作るため ・町民同士の関りを増やすため ・自分たちの力でできそうな気がするから ・需要の無かった空き家が、何かしらの形に変わることによって地域の活性化になるしSNS等で拡散すれば東浦町の魅力となり人口が増えるきっかけとなるから ・若者が目を通したときに、「お？」ってなって興味を持ちそうだから ・イオンまで行かないとまったりできる場所が少ないから 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用はクラウドファンディングで集める。まずは空き家探しをする ・空き家を使い、誰でも気軽に行ける場所を作る ・空き家を借りる（その金はどこから？） ・空き家を改造し人々の憩いの場を作る ・いろいろな事業やイベントを企画・提案する ・空き家を活用した地域交流のイベント開催 ・Wi-Fiやゲーム、テレビを置く ・紅茶やお菓子を空き家のカフェで売る
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ●ぶどうをもっとPR ●町外の人にもぶどうを広められそうなイベント ●ぶどうの紅茶 ●ぶどう狩り体験 ●朝市やマルシェ企画 ●ぶどうを使った飲料、お菓子作り ●ぶどうのお酒をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと身近に感じられないかなと思ったから ・東浦町にぶどうがあることを知らない人がいたため、もっと皆に広まればいいなと思ったから ・町外の人にはぶどうのことをよく知らないため、ぶどうを知るきっかけになると思ったから（町内からも期待できる！） ・ぶどう農家の人々がどんなことをしているのか知りたいから ・ぶどうには歴史があるから多くの人に知ってもらいたいから ・ぶどう農家の後継者不足の解決につなげたいから ・菓子やドリンクはPRにつながるから（農家の方と協力して作る） ・名物が1つ増えるし、飲んでみたいから ・アクセスの良さを感じてもらおうなど、東浦町のことを知ってもらうため 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう狩り体験やぶどうの配布 ・他市町にも負けない魅力を（イオンなら他市町の人にもPRできる） ・ぶどうに関するお祭りなどのイベント ・イオンなどで試飲会、朝市やげんきの郷などに出品 ・1日ぶどう農家の人の御世話になる ・ぶどうの皮を紅茶にし、紅茶の中にぶどうの実などを入れる ・費用はクラウドファンディングで集める ・紅茶のパックを作ったり食べ物を作ったりする ・ぶどうを使ったスイーツなどを駆使してカフェを開いてみる

■若者会議 第1回まとめ 【ワークシートを使った個人ワーク】			
キーワード	若者会議でやってみたいこと	やってみたい理由	やってみたいことを具体的に書いてみよう
交流	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなでスポーツイベントを開催する ●於大公園などで多数でやれるゲームを開催する ●豊かな自然を利用したコスプレ等の撮影 ●於大公園でコスプレサミットの開催 ●若者にしかできない（若者主催）イベント ●行政や他市町がやらないイベント ●年齢関係なく交流できるイベント ●マイナースポーツの体験みたいなものの開催（ドローン操作会、ポッチャなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動をしない子が増えてきているからスポーツをする機会を与えるため ・普通の鬼ごっこなどとは違うものを行うことで、地域の人たちが交流できると考えたから ・住民や町外の方が気軽に楽しく参加できるイベントがあれば、もっとまちは活気付きPRにもつながっていくから ・若者を町内外から集めることができ、東浦町の自然を知ってもらうことができるから ・アニメやコスプレは国内だけでなく、海外でも人気のため街おこしにつながると思ったから ・企画した人たちが楽しいと思えるイベントならほかの人も来たいと思うから ・他の市町とは一味違うことをアピールするため→若者の意識の高さをアピールするため ・若者主催のイベントが少ないから ・「交流」を一番に考えどの年代の方にも楽しんでもらい笑顔になってもらいたいから ・やっている人が少ないスポーツだからこそ、広範囲から人を呼ぶことができるから（広報方法に難あり） ・既存のイベントに加えても楽しそうだから 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内放送等で呼びかける ・事前にゲームについての案を出し、ボランティアなどで運営をしてもらいゲームを行う ・スポーツイベントや朝市・マルシェ、シェア自転車を複合させたアイデアを実現したい ・東浦町ホームページやSNSで呼びかけをし、於大公園にテントを設置して運営する（コスプレイヤーが着替える用） ・実際にコスプレをして於大公園で撮影する→SNSに載せPR・拡散 ・於大の方とコラボした歴史イベント ・春夏秋冬に合うイベント（まちの歴史をもっと深く調べる） ・イベントブースの中で町やおだいちゃんのPR（ゲームやクイズなどで） ・町内にお住まいの方のような条件を無くしたイベントを行う ・イベントの内容作り
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の連帯感？を上げたい ●祭の活性化 ●人口を増やすための対策 ●シェア自転車（仕組みの確立） ●オリジナルブランド企画 ●シェア〇〇の発案（東浦町独自の何か） ●食品ロスを減らすために、食品（まだ食べられるのに捨てられてしまうもの）を提供する ●子供や高齢者の支援を通じた住民の交流の場を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り等で地区内の連帯感はあるが、地区間でのつながりが薄いから ・東浦町の祭には他市町の人あまり集められていないと思ったから ・うららバスの運行数に限りがあるため（昼間は乗客数が少ない） ・貧しい人たちに、無料で食品を提供してお腹を満たしてほしいから ・シェア自転車があれば駅から遠いところにも行けるから ・町の課題である居場所づくりの解決に繋がればと思ったから 	<ul style="list-style-type: none"> ・於大まつりを夏に移す ・人口増加が見込まれている大府市や高浜市を参考にできることをやる ・まちの住民と関わりたい ・店を回って、捨てられているものを調査し、寄付してもらう →はるたま食堂や小、中を通して配る ・祭やイベントの量を増やす ・子供向け疎遠として学校での朝食提供 ・住民ボランティアの募集を通じて世代間を超えた地域交流を実現したい